

事業実績報告書

様式2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-46	講座名	干潟の学校 ～藤前干潟でいろんなことしましょ！～
記載日	2020/2/18	団体名・企業名	NPO法人藤前干潟を守る会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

秋冬は大潮でも昼間にほとんど干潟は出ないため、春夏のようにドロ干潟に入っただけの観察会ではできませんが、秋冬には秋冬の楽しみや魅力があります。稲永ビジターセンター側では、人気のトビハゼを冬眠前に観察したり、ヨシ原サイドで初めて英語のみのプログラムを開催したり、年一回のカワザンショウガイ調査を実施しました。藤前活動センター側では、半世紀前まで豊かな漁場であったことや海苔養殖も盛んだったことを伝え、伊勢湾の海苔を味わった後、海苔すきを体験し、もう一度豊かな藤前干潟を取り戻したいというメッセージを伝えました。



※写真1の説明

11月9日、稲永側のヨシ原で英語だけのプログラムを実施。カニがたくさん見つかりました。

2月8日、藤前活動センターで、伊勢湾産の生海苔を使って海苔すきを体験しました。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

10月12日開催予定だった第1回「トビハゼウォッチング！」は、台風接近のため延期となりました。開催中止を決定するまで進路予報とにらめっこです。参加者全員に連絡するので早めに決断しなくてはならず、ずいぶん気をもみました。これは第4回「海苔を作ろう！」も同じことで、天候が荒れると採取舟が出ないため新鮮な原料が手に入りません。毎回天気予報を見てはハラハラしています。自然相手では仕方のないことですが、今期も無事終了できてホッとしています。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

- ・ 港区に住んでいるけれど初めてこのようなイベントに参加して楽しかった。また参加します！
- ・ It was the right balance for kids. We had lots of fun. I would be happy to pay more if it helps conservation.
- ・ 干潟に初めてきました。ヨシ原の現状の状態やカワザンショウガイ類も、初めてマジマジと見ました。自然の大切さを改めて感じました。
- ・ 楽しかった。のりづくりの昔の人の話がきけてよくわかり、よかったです。